

令和5年海難発生状況(速報値)

第十一管区海上保安本部
交通安全対策課
令和6年1月

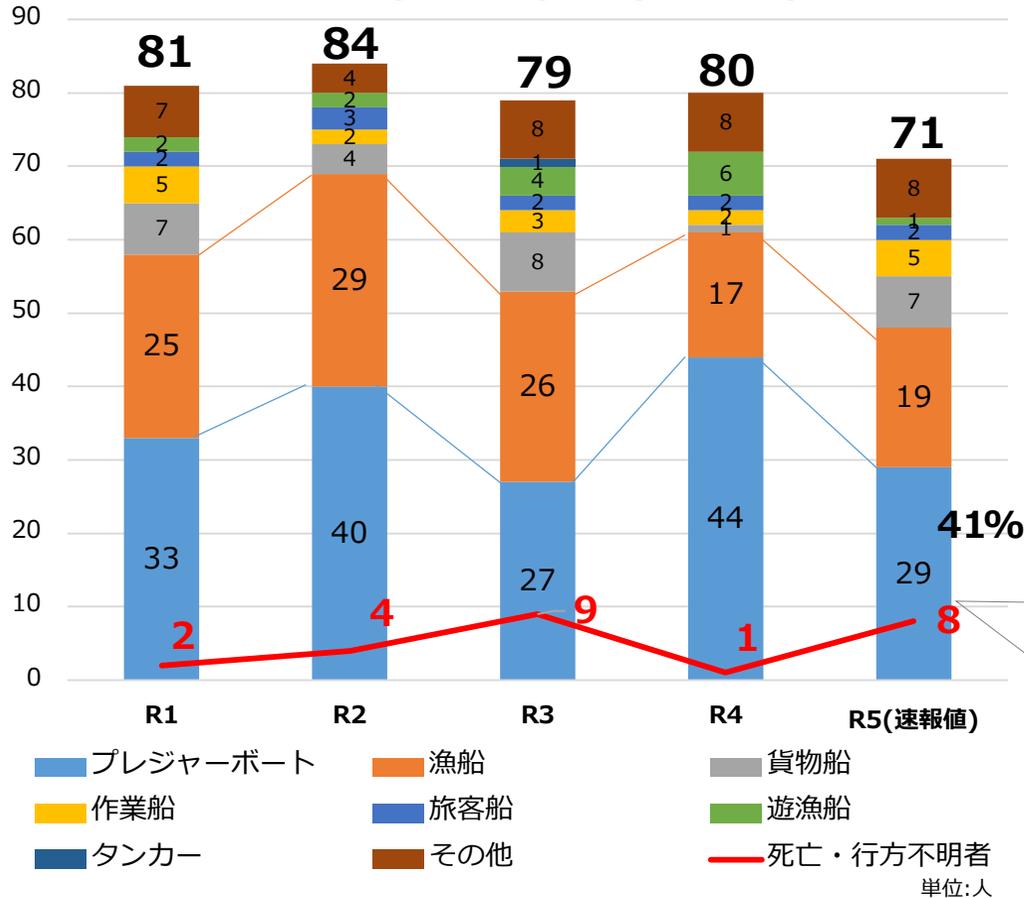
令和5年船舶事故発生状況

- 令和5年の船舶事故隻数：71隻（前年比9隻減）、うち死亡・行方不明者8人（昨年比7人増）
- 船舶事故種類別では運航不能が最も多く、全体の事故の約5割であった。
- プレジャーボートの事故隻数：29隻（前年比15隻減）、全体の事故の約4割であった。

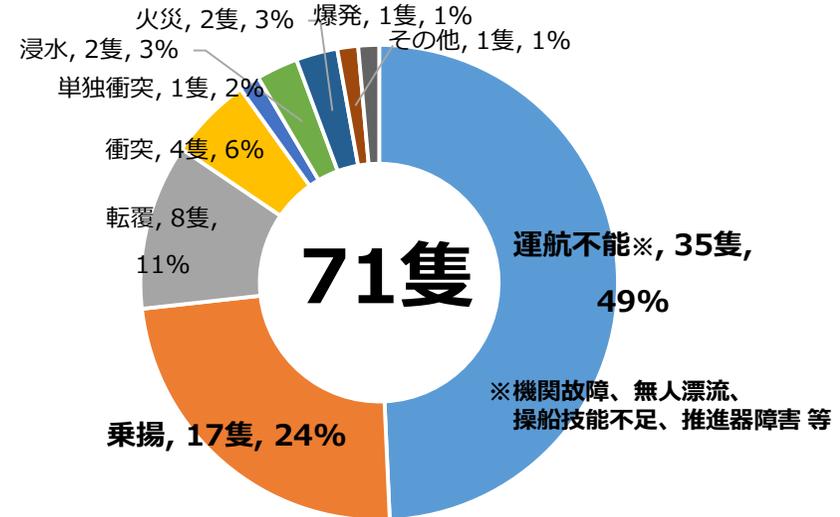
※特に水上オートバイの事故が減少しており、主な要因として、見張り不十分や操船技能不足による衝突等の事故の減少が考えられる。

船舶事故発生状況 (R1~R5)

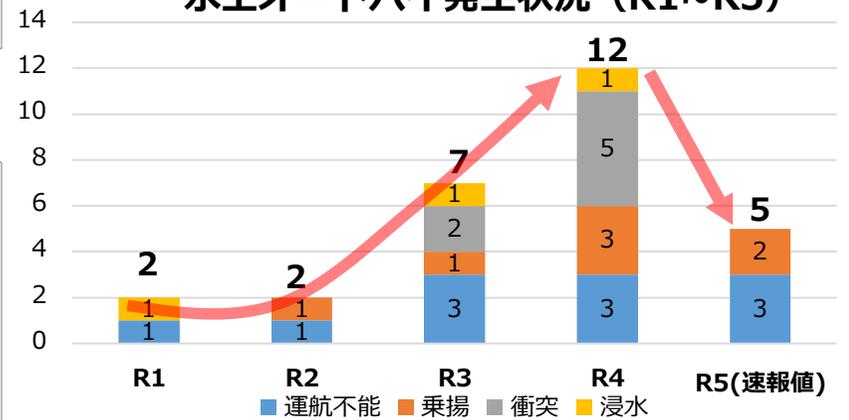
単位:隻



船舶事故種類別発生状況 (R5)



水上オートバイ発生状況 (R1~R5)



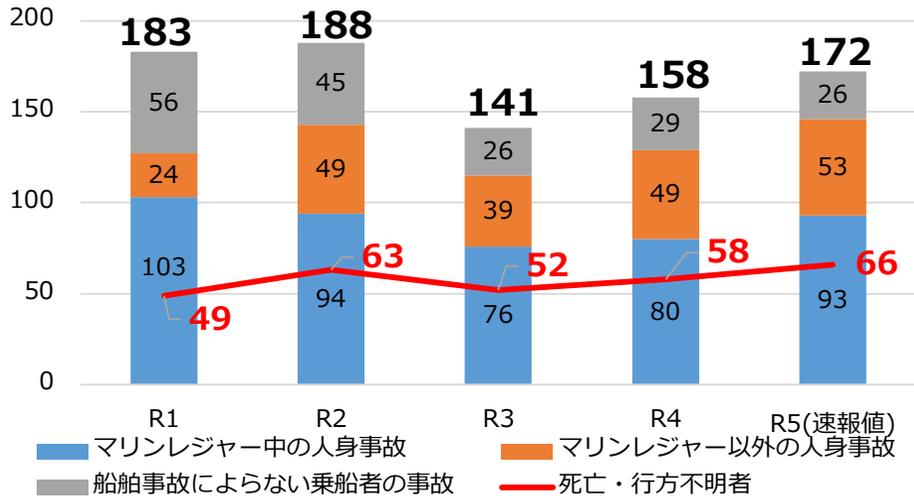
※プレジャーボートとは、モーターボート（ミニボート）、水上オートバイ、カヌー、クルーザーヨット、クルーザーボートをいいます。

令和5年人身事故発生状況

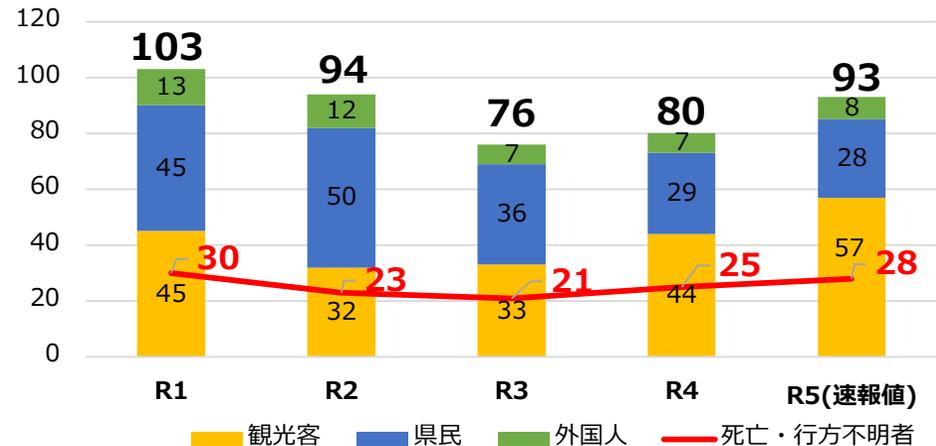
単位:人

- 令和5年の人身事故者数：172人(前年比14人増)、うち死亡・行方不明者66人(前年比8人増)
- マリンレジャー中の人身事故者数：93人(前年比13人増) 観光客の事故者が過去5年で最も多く、6割を超えた。
- マリンレジャー中の人身事故 活動別：スノーケリング中、ダイビング中で半数以上を占めた。

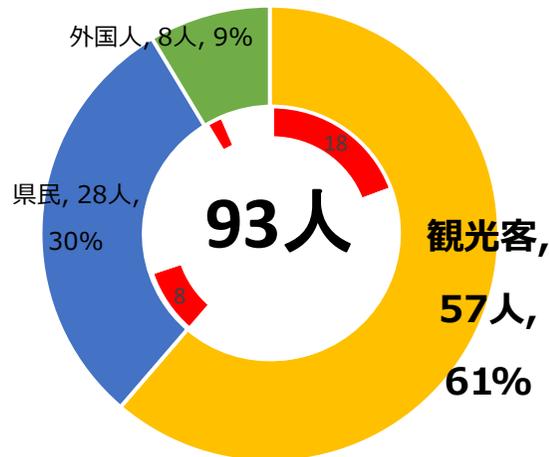
人身事故発生状況 (R1~R5)



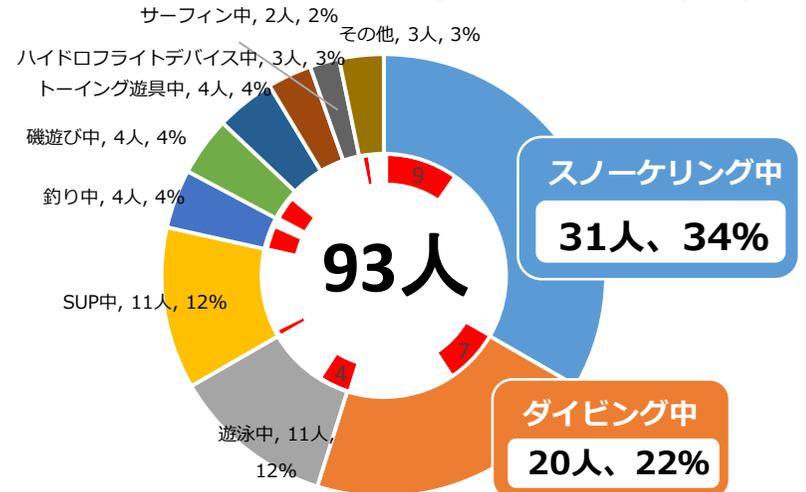
マリンレジャー中の人身事故発生状況 (R1~R5)



マリンレジャー中の人身事故 県民/観光客割合 (R5)



マリンレジャー中の人身事故 活動別 (R5)

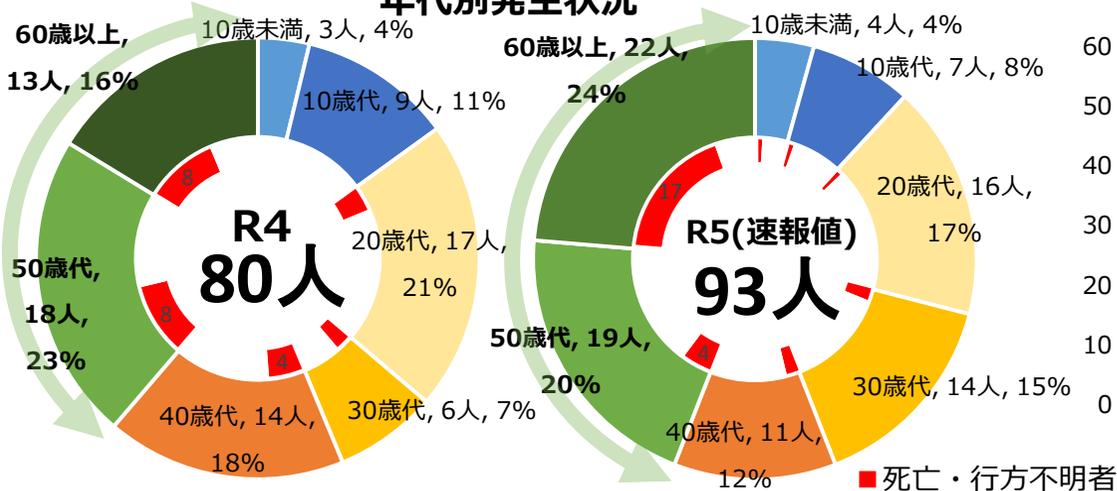


■ 死亡・行方不明者

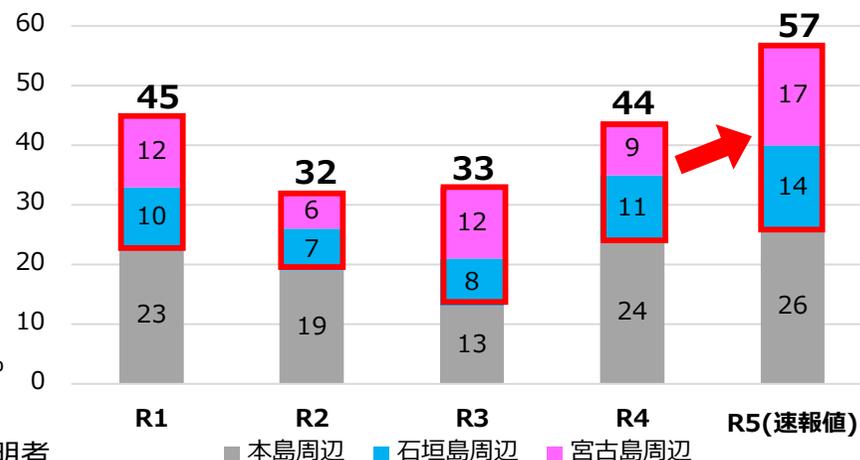
令和5年マリンレジャー活動中の人身事故発生状況

- 年代別：中高年（50歳以上）で4割以上を占めており、特に死亡・行方不明者あつては、7割以上と最も多く発生した。 単位:人
 - 観光客による地域別：離島での事故が増加傾向にある。
 - 観光客によるスノーケリング中、ダイビング中の事故の増加が顕著に見られた。
- ※主な要因として、ライフジャケット非着用（浮力確保の不備）、知識・技能不足及び連絡手段の不足などによる事故が考えられる。

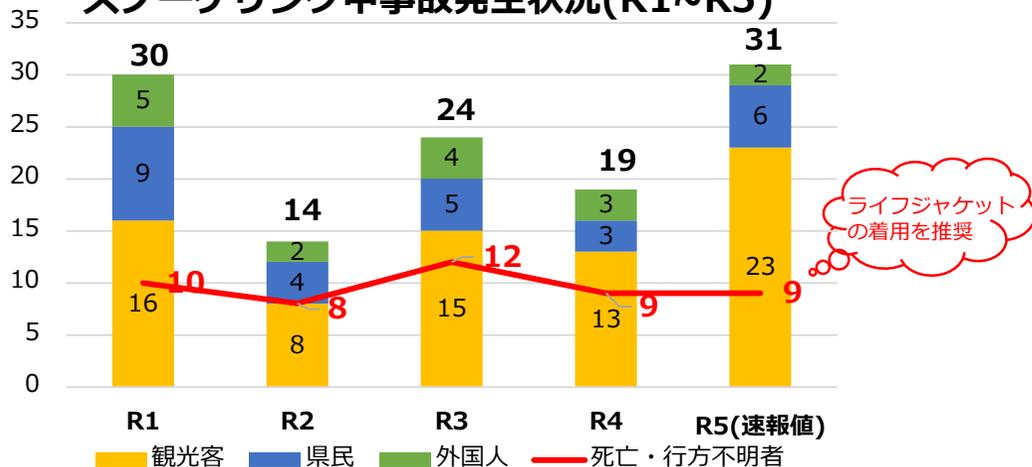
年代別発生状況



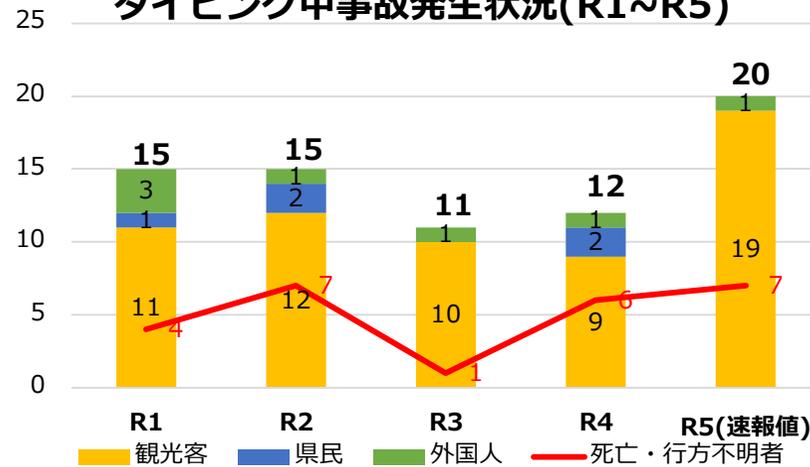
観光客による地域別発生状況(R1~R5)



スノーケリング中事故発生状況(R1~R5)



ダイビング中事故発生状況(R1~R5)

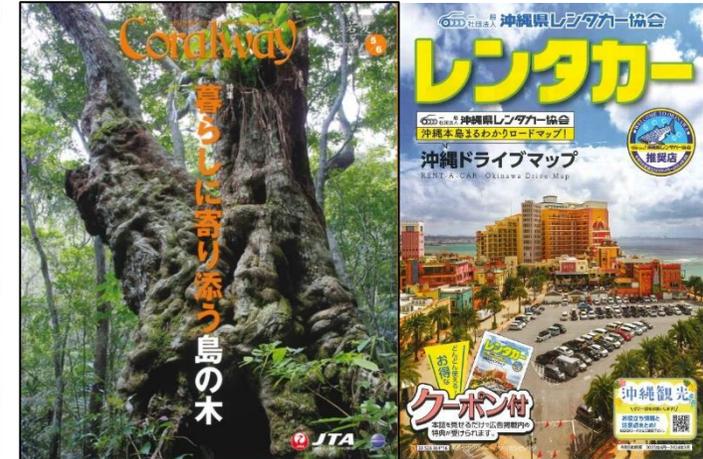




空港での啓発活動



航空機機内アナウンスでの
事故防止の呼びかけ



航空機内誌・レンタカー冊子への
安全啓発情報掲載



マリンレジャー事業者への指導



県警との合同パトロール



ラジオでの呼びかけ